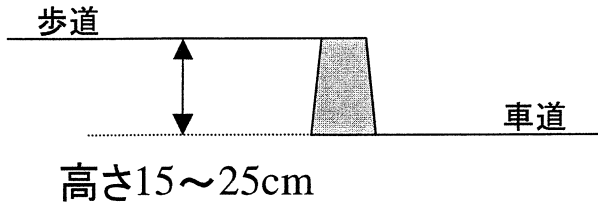


「歩道の一般的構造に関する基準」改正のポイント

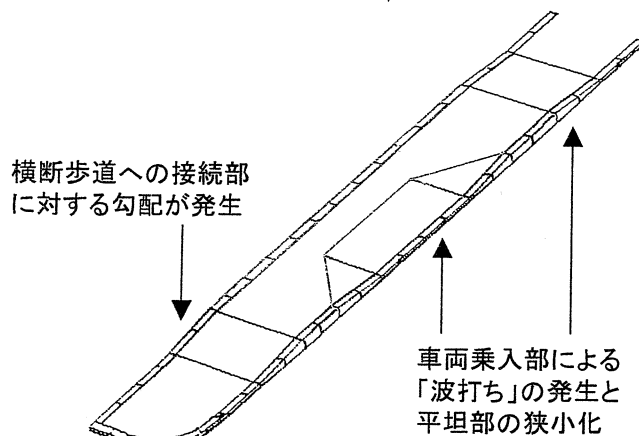
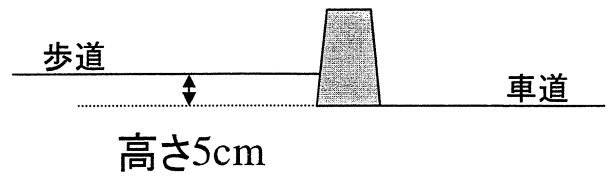
これまでの歩道

【マウントアップ形式】

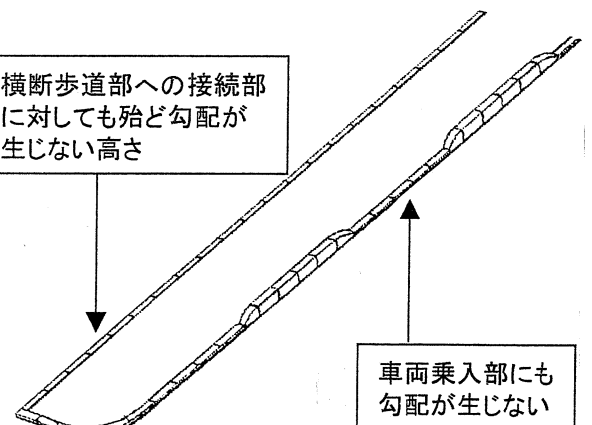


これから整備していく歩道

【セミフラット形式】



横断歩道部への接続部
に対しても殆ど勾配が
生じない高さ

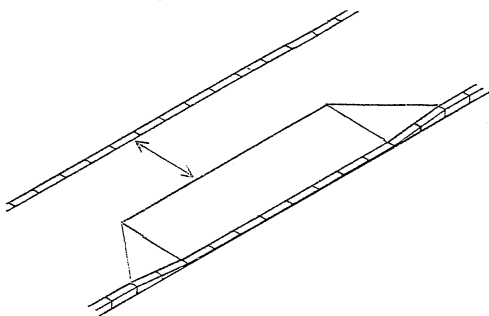


横断歩道との境界の高さは従来より「2cm」を標準

- ・車椅子使用者が少しでも昇り降りしやすいよう、なるべく低く
- ・かつ、視覚障害者が杖や足によって車道との境界を認識できるような高さとして設定

既に在るマウントアップ歩道に対し、車両乗入部を設ける場合

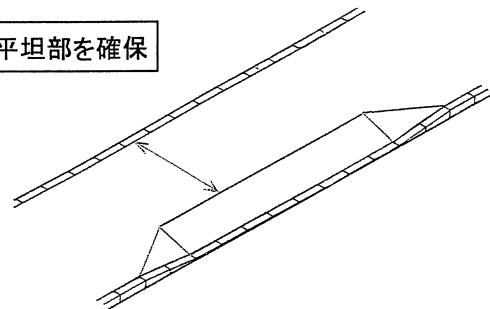
これまで



乗入部の勾配が比較的緩やかな規定
→平坦部を狭めてしまい、歩行に最低限
必要な1m幅が確保できない場合も

今後

平坦部を確保



乗入部の勾配を車両側に厳しく規定
→できるだけ広く平坦部を確保
(例えば1.5m幅の歩道でも、1mの平坦部
確保が可能)